

《各県コーナー》

# 地域防災力の向上について

## .....福島県土木部河川整備課

福島県は、市町村の洪水等の災害に対する防災意識の向上と水災害対策の推進を図るため、水防訓練や水防工法技術指導、及び災害図上訓練(T-DIG)を行っております。

平成22年5月23日(日)白河市阿武隈川で行いました平成22年福島県水防訓練と平成22年5月29日(土)米代川水防演習中に開催される第5回東北水防技術競技大会に向けて水防工法技術訓練状況及び昨年度開催しました、災害図上訓練(T-DIG)について報告します。

### 1. 平成22年度 福島県水防訓練

福島県水防訓練は昭和26年を初年度として、県内8建設事務所を順番に実施しており、今年で60回目を迎えました。

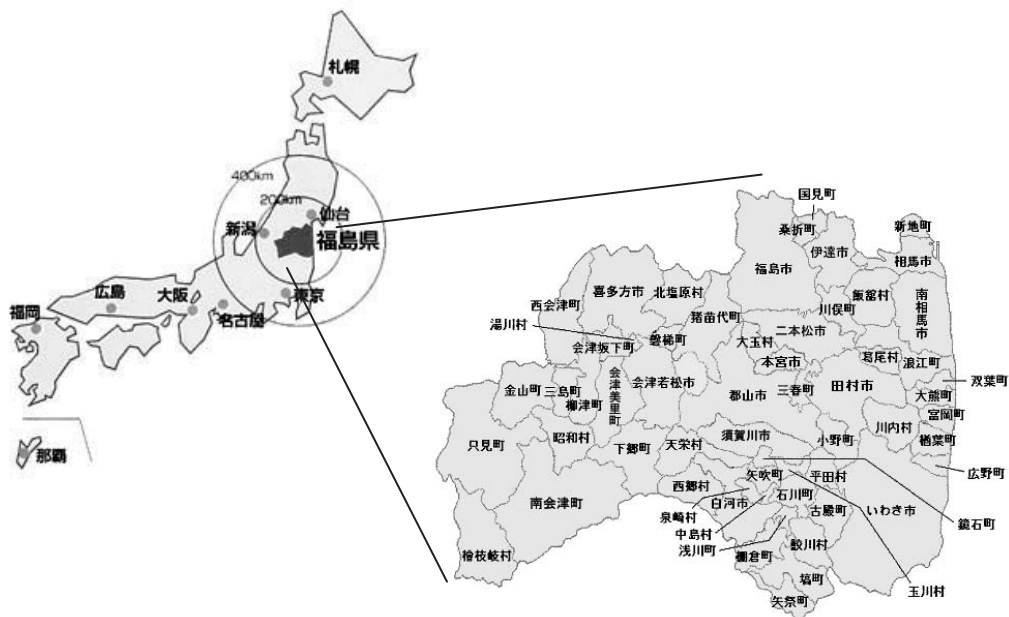
本格的な出水期を迎える前に洪水から生命・財産を守るため、水防の意義や重要性についての理解を深めるとともに、水害の恐ろしさや水防に対

する関心を高めることを目的に行われるもので、県内の建設事務所及び土木事務所など、土木部の出先機関の長が一堂に会し、前半の講習会、後半の訓練と2部構成にて実施しました。

この訓練により、水防活動に必要な知識と水防作業の実地指導、更には情報の伝達、資材管理等の確認・迅速化を徹底させるとともに、地域住民に対する水防意識の高揚や市町村の水防体制の充実強化を図っております。

今年度は福島県白河市の阿武隈川河川敷で開催しました。

阿武隈川は、福島県西白川郡西郷村旭岳にその源を発し、大滝根川、荒川、摺上川等の支川を合わせて、福島県中通り地方を北流し、阿武隈川渓谷の狭窄部を経て宮城県に入り、太平洋に注ぐ、幹川延長239km、流域面積5,400km<sup>2</sup>の一級河川です。近年では平成10年8月の未曾有の長期間にわたる大雨では、死者11名、被災家屋2,096戸、浸水面



《各県コーナー》



積3,631haに達する被害が生じ、社会及び地域経済に大きな損害を与えました。

1) 講習会

- ・水防協力者表彰（知事表彰を）を行い土木部長より1個人、2団体に感謝状を授与しました。
- ・西郷村消防団長より「地域にあった水防活動について」と題して講演をいただきました。

2) 訓練

- ・水防工法演習として、管内9市町村水防団と陸上自衛隊郡山駐屯地第6特科連隊第1大隊そして福島県建設業協会県南支部により木流し工、シート張り工、積土のう工、月の輪工、大型土のう工を行いました。
- ・人命救助演習として、白河地方広域市町村圏消防本部により水難者の救助演習を行いました。

2. 第5回東北水防技術競技大会への参加

全国的な水防団員の高齢化や減少は今後の水防活動に多大な支障を来す課題であるとともに、水防技術と意識を保つためにも多角的な対策を講じることが必要である。

特に東北地方は全般的に高齢化が著しく、人材の保持とあわせ新たな人員の確保が急務である。

そこで、平成18年度より「東北地方整備局管内水防演習」の開催に併せ「東北水防技術競技大会」が開催され、東北管内における水防団の水防技術の向上と意識向上を図るとともに新たな人材を確保するため、水防団への参加気運を高めるために行われています。

平成22年度の福島県代表として本宮市消防団が出場します。

○開催日時／平成22年5月29日(土)

「平成22年度米代川水防演習」中に開催

○開催場所／秋田県能代市中嶋地先

(米代川左岸6.5km付近) 米代川水防演習会場



木流し工



シート張り工



月の輪工



## 《各県コーナー》

### ○実施工法／

- ① 「月の輪工」(1種目目)
- ② 「シート張り工」(2種目目)

※東北管内の水防団が常日頃から実施している(経験のある)工法を選定。

※地域性に左右されにくく、仕様を統一しやすい工法である。

### ○参加団体／

東北 6 県の各県選抜の 120 名(各県 20 名)

本宮市消防団では出場に伴い、平成 22 年 3 月より練習を開始しました。

3 月は 10 日と 14 日、28 日に、4 月は 4 日、25 日に、5 月は 9 日、16 日、23 日の合計 8 日間行っております。

福島県といたしましては、県で指名している水防工法技術指導員を派遣し、本宮市消防団へ水防工法の技術指導を行いました。



月の輪工法



シート張り工法



本宮市消防団選手



シート張り工法



水防工法技術指導員による指導

## 《各県コーナー》

### 3. 災害図上訓練 (T-DIG)

平成22年1月8日(金)に、郡山市・ビッグパレットふくしまにおいて「7・21防府佐波川流域の豪雨・土砂災害を考える」をテーマとして、県、市町村防災担当者を対象に地域防災を積極的に取り組むため、河川及び防災教育を専門とされている先生方にご協力をいただき、講演会と演習として地域防災図上訓練 (T-DIG<sup>※</sup>) を実施しました。

#### プログラム

- ・ 講演①：山崎 隆弘  
NPO ぼうぼうネット 事務局長
- ・ 講演②：瀧本 浩一  
山口大学院理工学研究科環境共生系  
学域准教授
- ・ 講 座：地域防災図上訓練 (T-DIG)

講演の後、地域防災について住民自らが考えることを助ける手法の一つとして T-DIG を講演していただき、その後参加者全員が訓練をしました。

モデル地区として福島県庁周辺を取り上げ、参加者全員が班に分かれて地図を囲みながら、【地域の特徴】、【災害に対する強みと弱み】等を地図に書き込みながら、楽しく議論することで、わがまちに起こりうる災害像をより具体的にイメージする T-DIG を行いました。また、この T-DIG を通して参加者同士の距離が縮まり、まちづくりをする上での重要な人と人との関係も育まれることを実感しました。T-DIG は 1 回行えばよいというものではないため、今回の訓練を最初のステップとして、より具体的な災害対応へ発展させていくことができるよう継続的に実施していくこととしております。



講演会



T-DIG 実施の様子



T-DIG 実施の様子

#### ※T-DIG とは？

Town：まち、Disaster：災害、Imagination：想像力、Game：ゲーム

参加者が地図を囲み、書き込みを行いながら議論することで、地域に起こりうる災害の姿を具体的にイメージする手法の一つです。